SONY

4-295-326-**01** (2)

デジタルフォトフレーム

取扱説明書

DPF-C1000/C800/C700/C70A/C70E

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別紙の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

デジタルフォトフレームで写真をもっと楽しもう！
ソニーデジタルフォトフレームは、デジタルカメラなどで撮影した画像を液晶画面で手軽に楽しめます。
使いかたはとてもシンプル。画像が入ったメモリーカードをデジタルフォトフレームに挿すと、思い出の画像のスライドショーが始まります。
メモリーカードを取り出すと、時計としても使えます。

本書での説明について

- 特に説明が必要な所を除き、本書のイラストや画面にはDPF-C1000 を使用しています。
  また、本書で使われているイラストや画面は、実際のものと異なる場合があります。
- 対象のデジタルフォトフレームはすべての国や地域で取り扱いをしているわけではありません。
- 地域によって、お買い上げ時の日付や時計表示形式が異なります。
- 本書では、特に説明が必要な所を除き、メモリーカードとUSBメモリーをまとめて「メモリーカード」と記します。

同梱品を確認する

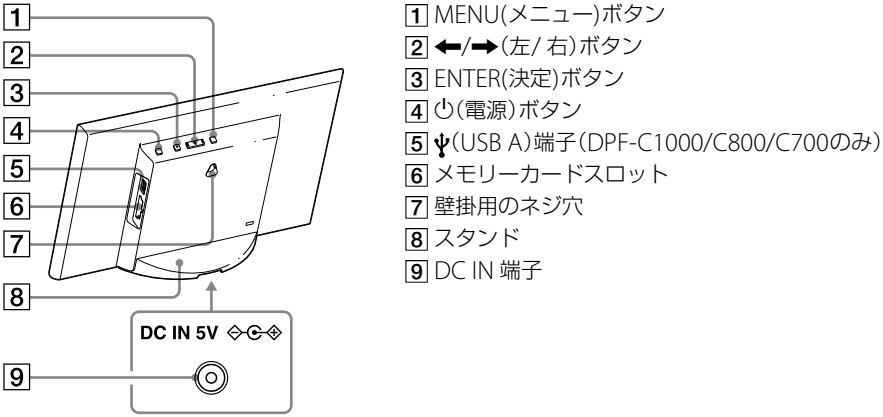
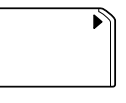
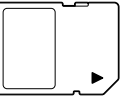
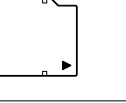
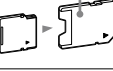
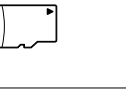
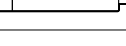
- デジタルフォトフレーム（1）
- スタンド（1）
- AC アダプター（1）
- 取扱説明書（本書）（1 部）
- 保証書（1 部）
- 製品登録のおすすめ*

* ワールドワイドモデルには同梱されていません。

準備する

各部の名前

本体背面

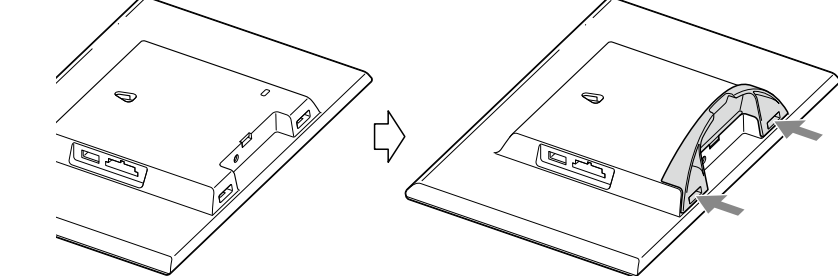
1 MENU（メニュー）ボタン
2 ⬅/➡（左/ 右）ボタン
3 ENTER（決定）ボタン
4 ⏻（電源）ボタン
5 ψ（USB A）端子（DPF-C1000/C800/C700のみ）
6 メモリーカードスロット
7 壁掛用のネジ穴
8 スタンド
9 DC IN 端子

本機で使えるメモリーカード／USBメモリー

本機では、デジタルカメラなどから抜いたメモリーカード（“メモリースティック デュオ”、またはSD メモリーカード）や、USBメモリーをそのまま差し込むだけで、すぐに画像の表示ができます。

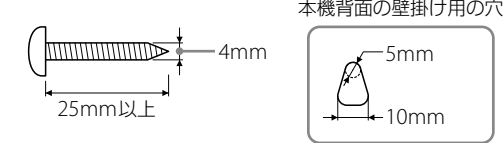
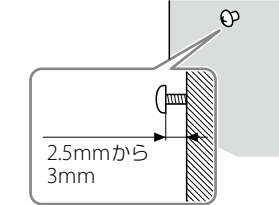
使えるカード		アダプターの取り付け
	“メモリースティックデュオ”（マジックゲート非対応／マジックゲート対応） “メモリースティックPROデュオ” “メモリースティックPRO-HGデュオ”	不要
	“メモリースティックマイクロ”（“M2”）	“M2”アダプター（デュオサイズ）
	SDメモリーカード/SDHCメモリーカード	不要
	miniSDカード/miniSDHCカード	miniSD/miniSDHCアダプター
	microSDカード/microSDHCカード	microSD/microSDHCアダプター
	USBメモリー（DPF-C1000/C800/C700のみ）	

❗
- 本機にカードアダプターは同梱していません。
- “メモリースティック”（スタンダードタイプ）は使用できません。
- カードアダプターが必要なメモリーカードにカードアダプターを装着しないで挿入すると、取り出せなくなります。
- カードアダプターに装着したメモリーカードを、さらに別にカードアダプターに装着したものは、本機で使用しないでください。
- すべてのメモリーカードの挿入やUSBメモリーとの接続を保証するものではありません。

❶ スタンドを取り付ける

スタンドのツメを本体に合わせ、スタンドの裏からツメの部分をカチッと音がするまで押し込んでしっかり差し込む。

❗
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定なところに置かないでください。
- スタンド部のみを持って本機を持ち運びしないでください。本体が落下する可能性があります。

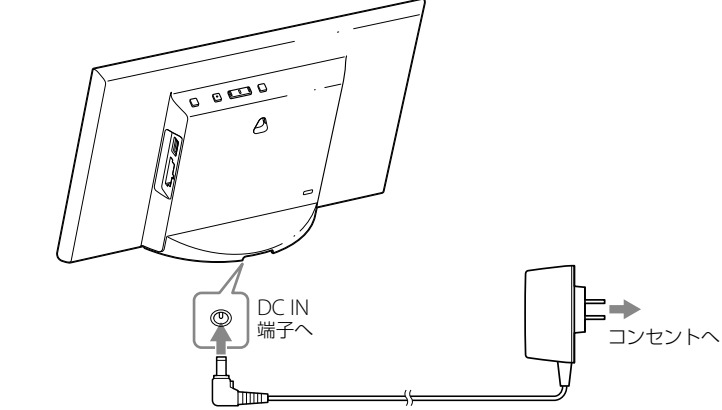
壁にかけて使用するには

1 **本機背面の壁掛け用の穴に合う市販のネジを用意する。**

2 **壁に市販のネジをとめる。**
ネジが壁から2.5mm から3mm、突き出した状態で壁に固定します。

3 **本機背面の壁掛け用の穴とネジの位置を合わせてから取り付ける。**

❗
- 壁の材質や強度に合ったネジを使用してください。壁の材質によっては破損する恐れがあります。
- 取り付けネジが緩んで本体が落下しないように、ネジは柱部分にしっかりと固定してください。
- メモリーカードを差し換えるときは本機をいったん壁から取りはずし、安定した場所で行ってください。
- 本機を壁にかけてご使用する際は、スタンドを取りはずしてください。
- DCコードを本機に接続してから壁にかけ、その後にACアダプターをコンセントにつないでください。
- 取り付けの不備、強度不足、誤使用、天災などによる事故、損傷につきましては、当社は一切の責任を負いかねます。
- 壁掛け使用時に本体ボタンを操作すると落下のおそれがあります。本体をしっかりと支えながら、充分に注意しておこなってください。

❷ 電源を入れる

ACアダプターをつなぐ

ACアダプターを図のようにつなぐ。
自動的に電源が入ります。

初めてお使いになるときは⇒「❸ 初期設定をする」へお進みください。一定時間たつと、デモンストレーション画面が始まります。
初期設定が終わっているときは⇒「使ってみよう」へお進みください。

電源を入／切する

電源を入れるときは
⏻（電源）ボタンを押します。

電源を切るときは
⏻（電源）ボタンを電源が切れるまで押したままにします。

❗
- AC アダプターは、お手近なコンセントを使用してください。使用中、不具合が生じた時は、すぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- 長時間使わないときは、使い終わったら、電源ボタンを押して電源を切り、AC アダプターを本機のDC IN 端子から抜き、AC アダプターをコンセントから取りはずしてください。
- AC アダプターのプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。
- AC アダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- 電源が入っている状態で、ACアダプターをコンセントやDC IN端子から抜かないでください。故障の原因となることがあります。
- 付属のACアダプターは、本機専用です。他の電気機器では使用できません。

❸ 初期設定をする

はじめてお使いになる場合は、画面にしたがって初期設定をしてください。後から設定を変更することもできます。

1 **[MENU]を押す。**
初期設定画面が表示されます。
⬅／➡で青色の枠を動かし、[ENTER]を押すとその項目の設定ができます。現在の設定には黄色の下線が表示されています。

2 **日付を設定する。**
① 年、月、日を、それぞれ⬅／➡と[ENTER]で設定する。
➡を押して設定する年や月、日を選び、[ENTER]を押します。⬅／➡で数字を変更し、[ENTER]を押して決定します。
② ➡を押して画面右下の OK➡ を選び、[ENTER]を押す。

💡
- 年月日の表示形式を変更することができます。
  DD-MM-YYYY：日-月-年
  MM-DD-YYYY：月-日-年
  YYYY-MM-DD：年-月-日

3 **手順2で日付を設定したのと同様に、時刻を設定する。**
① 時、分、秒を、それぞれ⬅／➡と[ENTER]で設定する。
② ➡を押して画面右下の OK➡ を選び、[ENTER]を押して決定する。

💡
- 時刻の表示形式を変更することができます。
  AM/PM 12H：12時間表示
  24H：24時間表示

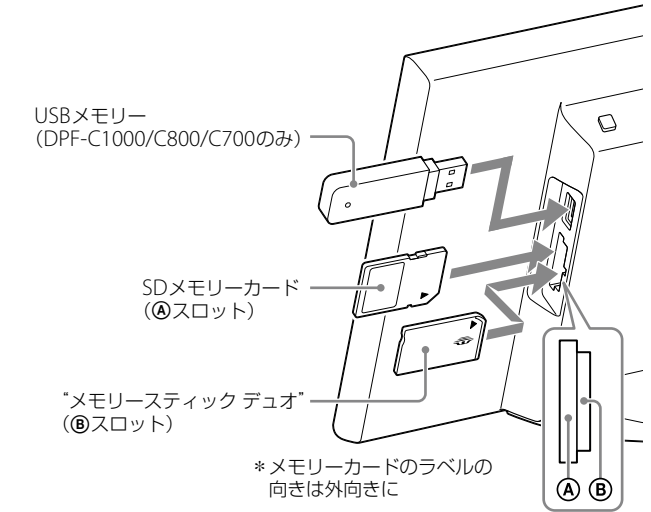
4 **必要に応じてタイマーを設定する。**
指定した時間に本機が自動的に電源を入／切するように設定できます。
設定する場合⇒裏面の「タイマーを設定する」の手順**3**、**4**を参考にして、設定してください。
設定しない場合⇒➡を押して画面右下の OK➡ を選び、[ENTER]を押す。

5 **デモモード設定を⬅／➡で選び、[ENTER]を押して決定する。**
ON：デモンストレーション画面が表示されます。
OFF：時計画面が表示されます。

6 **➡を押して画面右下の OK を選び、[ENTER]を押す。**
これで初期設定は終わりです。
デモモード設定が「OFF」の場合は、しばらくすると自動的に時計画面が表示されます。

使ってみよう

スライドショーを見る

メモリーカードまたはUSBメモリーを差し込む。
本体背面から見て、メモリーカードまたはUSBメモリーの表面を手前にして、それぞれのスロットにしっかりと奥まで入れてください。
自動的に再生が始まり、メモリーカード内の画像が次々に、スライドショー形式で表示されます。

❗
- Ⓐ、Ⓑ スロットに同時にメモリーカードを挿入すると、正常に動作しません。

💡
- すでにメモリーカードまたはUSBメモリーが挿入されているとき、空いているスロットや端子にメモリーカードまたはUSBメモリーを挿入すると、後から挿入したメモリーカードまたはUSBメモリーの再生に切り換わります。

スライドショー表示を一時停止するには（1枚表示）

[ENTER]を押します。⬅／➡で前後の画像を表示することができます。
スライドショー再生に戻すときは、もう一度[ENTER]を押します。

メモリーカードを取り出すには

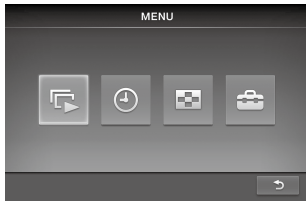
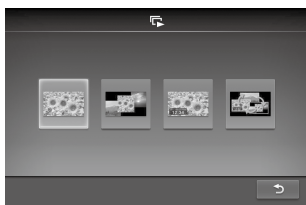
① [MENU]を押してメニュー画面を表示する。
② メモリーカードを挿入した方向と逆の方向へ引き抜く。
デモモード設定が「OFF」の場合は、時計画面が表示されます。

❗
- スライドショー再生中は、メモリーカードを取り出さないでください。メモリーカードの記録内容を破損する場合があります。

お好みの画面表示に変える

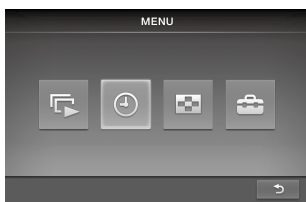
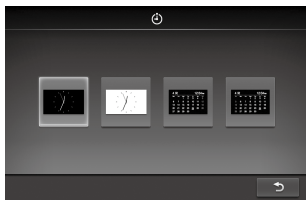
スライドショーや時計の表示スタイルを変えたり、画像をインデックス表示したりすることができます。

スライドショーの表示スタイルを変える

1 **[MENU]を押す。**

2 **⬅／➡で（スライドショー表示）を選び、[ENTER]を押して決定する。**

3 **⬅／➡でスライドショー再生の表示スタイルを選び、[ENTER]を押して決定する。**

	シングル表示 1つの画面を、次々と表示します。
	マルチ表示 複数画像を用いて表示します。
	時計表示 現在の日時を表示しながら、画像を次々に表示します。
	ランダム表示 複数のスライドショーと複数のエフェクトをランダムに切り換えながら表示します。

時計の表示スタイルを変える

1 **[MENU]を押す。**

2 **⬅／➡で（時計表示）を選び、[ENTER]を押して決定する。**

3 **⬅／➡で好みの時計またはカレンダースタイルを選び、[ENTER]を押して決定する。**

裏面へつづく

インデックス表示する

メモリーカード内の画像をサムネイルの一覧で見ることができます。

- サムネイルとは、デジタルカメラで撮影した画像ファイルに記録されている、見出し用の小さいサイズの画像のことです。

1 [MENU]を押す。

2 ←／→で (インデックス表示)を選び、[ENTER]を押して決定する。

画像を1枚だけ表示するには(1枚表示)

インデックス画面で、←／→で希望の画像を選び、[ENTER]を押します。選んだ画像が1枚表示されます。
1枚表示中に[ENTER]を押すと、スライドショー再生が始まります。

設定を変更する

1 [MENU]を押す。

2 ←／→で (設定)を選び、[ENTER]を押して決定する。

3 「設定項目一覧」を参照し、←／→、[ENTER]を使って設定する。

4 [MENU]を押して終了する。

- 前の画面に戻るには、画面右下の を選んで[ENTER]を押します。

設定項目一覧

スライドショー設定	切り換え間隔	速い間隔で切り換わります(約10秒)。
		中くらいの間隔で切り換わります(約30秒)。
		遅い間隔で切り換わります(約60秒)。
	画像表示方法	画像全体をそのまま表示します。(上下左右に黒い帯が表示されることがあります。)
		画像の縦横比はそのままで、上下左右を一部カットして画面いっぱいに表示します。
	エフェクト	センタークロス: 前の画像を十字型に開いて、画像を切り換えます。
		ブラインド縦: ブラインドを縦に下ろすように、画像を切り換えます。
		ブラインド横: ブラインドを横に引くように、画像を切り換えます。
		フェード: 2枚の画像をフェードアウト、フェードインで切り換えます。
		ワイプ: 一方向へ前の画像を上から覆うように、画像を切り換えます。
		ランダム: 上記の5 種類のエフェクトをランダムに使用して画像を切り換えます。
日時設定		日付を設定します。画面下の を選んで、[ENTER]を押して確定します。
		時間を設定します。画面下の を選んで、[ENTER]を押して確定します。
画面の明るさ設定		画面が暗めになります。
		画面がやや暗めになります。
		画面が最も明るくなります。
タイマー設定	2種類のタイマーが設定できます。詳細は「タイマーを設定する」をご覧ください。	
デモモード設定	ON	メモリーカードが挿入されていないときは、デモンストレーション画面が表示されます。
	OFF	メモリーカードが挿入されていないときは、時計画面が表示されます。

初期化設定	YES	設定をすべて消去し、工場出荷時の状態に戻します。
	NO	初期化せずにメニュー画面に戻ります。

タイマーを設定する

1 [MENU]を押し、←／→で (設定)を選び、[ENTER]を押して決定する。

2 ←／→で (タイマー設定)を選び、[ENTER]を押して設定する。

3 ←／→で設定するタイマーの種類を選び、[ENTER]を押して決定する。

:本機を何も操作しないまま指定した時間が経過すると、自動的に電源が切れます(オートオフ設定)。

:指定した時刻に電源を入／切します(自動電源ON/OFF設定)。

4 タイマーの設定時間を指定する。

オートオフ設定の場合

① ←／→を押して時間を選び、[ENTER]を押して決定する。

:4時間後に電源が切れます。

:2時間後に電源が切れます。

:オートオフ設定を無効にします。

② →を押して画面下の を選び、[ENTER]を押す。

自動電源ON/OFF設定の場合

① 指定した時刻に自動で電源を入れる場合、→を押して を選び、[ENTER]を押して決定する。
設定しない場合は手順③へ進んでください。

② 電源を入れる時刻を設定する。
→を押して時または分を選び、[ENTER]を押します。←／→で数字を変更し、[ENTER]を押して決定します。

③ 指定した時刻に自動で電源を切る場合、→を押して を選び、[ENTER]を押して決定する。
設定しない場合は手順⑤へ進んでください。

④ 電源を切る時刻を設定する。
→を押して時または分を選び、[ENTER]を押します。←／→で数字を変更し、[ENTER]を押して決定します。

⑤ →を押して画面下の を選び、[ENTER]を押す。

5 [MENU]を押して終了する。

- オートオフ設定と自動電源ON/OFF設定は同時に設定できません。後に設定したタイマーが有効になります。

その他

故障かな?と思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をご確認ください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

電源が入らない。

- 電源プラグは正しく差し込んでありますか?
  → 正しく接続してください。

何も反応しない。

→ 電源を一度切り、再度入れなおしてください。

画面に画像が表示されない。

- メモリーカードは正しく挿入されていますか?
  → 正しく挿入してください。
- メモリーカードにはデジタルカメラなどで保存した画像が入っていますか?
  → 画像の入っているメモリーカードを入れてください。
  → 表示可能なファイルフォーマットを確認してください。(「主な仕様」参照)
- ファイルフォーマットはDCFに準拠していますか?
  → DCF に準拠していないファイルはコンピューターで表示できても、本機では表示できない場合があります。

一部の画像が表示されない。

- インデックス表示で画像が表示されていますか?
  → インデックス表示で画像が表示されているのに一枚表示できない場合は、サムネイルと呼ばれる表示用データは問題ありませんが、1枚表示させるための画像データが壊れている可能性があります。
  → DCFに準拠していないファイルはコンピューターで表示できても、本機では表示できない場合があります。
  → コンピューターでファイル名をつけたり変更した場合、ファイル名に半角英数字以外の文字が含まれていると、本機で画像が表示できない場合があります。
- メモリーカード内に8階層を超えるフォルダーがありませんか?
  → 8階層を超えるフォルダー内にある画像データは、本機では表示できません。

縦の画像が横に表示される。

→ 縦位置で撮影した回転情報をExif情報に記録できないデジタルスチルカメラで撮影した画像は、横位置で表示されます。

エラー表示

本機の液晶画面に次のようなエラーが表示されたら、以下に従って対処してください。

表示	表示の意味
	コンピューターで作成したJPEG ファイルなど、本機が対応していない画像ファイルです。
	本機が対応している画像ファイルですが、サムネイルと呼ばれている表示用の画像データが開けないか、または本画像が開けません。
	"メモリースティックデュオ"、SDメモリーカード、またはUSBメモリーに画像データが入っていません。
	"メモリースティックデュオ"、SDメモリーカード、またはUSBメモリーが破損しています。→ 正常な"メモリースティックデュオ"、SDメモリーカード、またはUSBメモリーを使用してください。
	サポートしていないフォーマットの"メモリースティックデュオ"、SDメモリーカード、またはUSBメモリーが使用されています。→ サポートしている"メモリースティックデュオ"、SDメモリーカード、またはUSBメモリーを使用してください。

主な仕様

本体

機種名			DPF-C1000	DPF-C800	DPF-C700	DPF-C70A	DPF-C70E
液晶画面	液晶パネル		10.1型、TFT駆動	8型、TFT駆動	7型、TFT駆動	7型、TFT駆動	
	総ドット数		1,843,200ドット 1024×3(RGB)×600ドット	1,440,000ドット 800×3(RGB)×600ドット	1,152,000ドット 800×3(RGB)×480ドット	336,960ドット 480×3(RGB)×234ドット	
有効表示画面	表示アスペクト比		16:10	4:3	16:10	16:10	
	実表示エリア		9.2型	7.9型	6.4型	6.4型	
	総ドット数		1,628,748ドット 914×3(RGB)×594ドット	1,411,344ドット 792×3(RGB)×594ドット	1,012,464ドット 712×3(RGB)×474ドット	293,940ドット 426×3(RGB)×230ドット	
液晶バックライト寿命			20,000時間(バックライトの輝度が半減するまでの時間)				
入出力端子			USB端子(A TYPE、Hi-Speed USB)				
			"メモリースティックPRO"(デュオ)/SDメモリーカード				
表示可能なファイルフォーマット[*1]	JPEG		DCF 2.0準拠、Exif 2.3準拠、JFIF(4:4:4、4:2:2、4:2:0形式のBaseline JPEG)				
	TIFF		Exif 2.3準拠				
	BMP		1、4、8、16、24、32ビットWindows形式				
	RAW[*2]		SRF、SR2、ARW2.2(プレビューのみ)				
最大再生画素数[*3]			8,000×6,000				
ファイルシステム			FAT12/16/32				
画像ファイル名			DCF形式、半角英数字256文字 8階層以下				
最大画像ファイル数			4,999枚				
電源			DC IN端子入力、DC 5 V				
消費電力	ACアダプター含む	最大消費電力	9.5 W	9.0 W	8.5 W	3.6 W	
		標準消費電力	6.2 W	5.8 W	5.4 W	3.6 W	
	本体のみ	最大消費電力	7.5 W	7.0 W	6.5 W	3.0 W	
動作温度			5℃～35℃				
外形寸法(幅／高さ／奥行き)	スタンドセット時		262.1 mm×180.6 mm×61.6 mm	218.4 mm×172.4 mm×61.6 mm	188.8 mm×132.4 mm×61.6 mm	188.8 mm×132.4 mm×61.6 mm	188.8 mm×132.4 mm×62.4 mm
	壁掛け時		262.1 mm×180.6 mm×27.3 mm	218.4 mm×172.4 mm×27.3 mm	188.8 mm×132.4 mm×27.3 mm	188.8 mm×132.4 mm×27.3 mm	188.8 mm×132.4 mm×28.5 mm
質量			515 g	449 g	283 g	304 g	317 g
同梱品			表面の「同梱品を確認する」参照				

AC アダプター

型名	AC-P5022
定格入力	AC100 V - 240 V、50 Hz/60 Hz、0.4 A
定格出力	DC 5 V、2.2 A
外形寸法(幅／高さ／奥行き)	約79 mm×34 mm×65 mm(最大突起部のぞく)
質量	約105 g

その他の仕様については、AC アダプターのラベルをご覧ください。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

*1 データの種類のよっては再生できないものがあります。
*2 ソニーαカメラのRAW ファイルサムネイルがそのまま表示されます。
*3 17×17 以上ある必要があります。縦横の比が20:1 以上ある画像は正しく表示できない場合があります。また、20:1以下でもサムネイル表示や、スライドショーで表示されない場合があります。

商標およびライセンスについて

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお受け取りください。
- 所定事項に記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1 年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう1 度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは

お買い上げ店、またはソニーの相談窓口にご相談ください。
ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名:DPF-C1000/C800/C700/C70A/C70E
- 故障の状態:できるだけくわしく
- お買い上げ年月日

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、デジタルフォトフレームの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低5年間保有しています。

■ 困ったときは (サポートのご案内)

ホームページで調べる

デジタルフォトフレームの商品や最新サポート情報(製品に関するQ&Aなど)はこちらのホームページから
http://www.sony.co.jp/DPF/

メモリースティック対応表

使用可能な"メモリースティック"を確認できます。
http://www.sony.jp/memorystick/compatible/

電話で問い合わせる(おかけ間違いにご注意ください。)

よくあるお問い合わせ、解決方法などは、ホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口
フリーダイヤル……………0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ 0466-31-2511
受付時間 月～金：9:00～18:00
土・日・祝日：9:00～17:00

修理相談窓口
フリーダイヤル……………0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ 0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。
受付時間 月～金：9:00～20:00
土・日・祝日：9:00～17:00

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「403」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX (共通) 0120-333-389

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

■ 製品登録のご案内

製品登録していただくと、安心・便利な各種サポートが受けられます。詳しくは、同封のチラシ「製品登録のおすすめ」もしくはご登録WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/dpp-regi/

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

http://www.sony.co.jp/

この説明書はVOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。